

バリアフリー等地域連絡会議の開催について

令和8年7月

国土交通省 中国運輸局 共生社会推進課

国土交通省 中国地方整備局 企画部企画課

バリアフリー等地域連絡会議の開催について

中国運輸局・中国地方整備局合同で、令和7年度は山口県と岡山県において地域連絡会議を開催しました。

山口県バリアフリー等地域連絡会議

【開催概要】

日時：令和7年10月29日(火) 14:00~16:00

場所：対面・WEB併用で実施

議事：(1)開会挨拶（山口運輸支局長）

(2)座長選出・挨拶

(3)運営要綱の一部改正について

(4)移動等円滑化評価会議中国分科会の報告について

(5)第4次バリアフリー整備目標最終とりまとめについて

(6)構成員のバリアフリーに関する取組状況について

(7)意見交換

(8)閉会挨拶（山口県土木建築部技術管理課長）

【構成員】

○学識経験者

山口大学大学院 創成科学研究科 工学部
社会建設工学科 教授 榊原 弘之

○高齢者・障害者団体

一般社団法人 山口県身体障害者団体連合会
一般社団法人 山口県視覚障害者団体連合会
一般社団法人 山口県ろうあ連盟
一般財団法人 山口県手をつなぐ育成会
特定非営利活動法人 山口県自閉症協会
一般財団法人 山口県老人クラブ連合会

○施設設置管理者

西日本旅客鉄道株式会社 中国統括本部
錦川鉄道株式会社
公益社団法人 山口県バス協会
一般社団法人 山口県タクシー協会
山口県旅客船協会
山口県旅館ホテル生活衛生同業組合
山口宇部空港ビル株式会社
岩国空港ビル株式会社

○行政機関

山口県
山口市
中国地方整備局
中国運輸局

【会議の様子】



座長 山口大学大学院 創成科学研究科 工学科
社会建設工学科 教授 榊原 弘之



対面会場
(山口運輸支局)



意見交換

バリアフリー等地域連絡会議の開催について

山口県バリアフリー等地域連絡会【構成員のバリアフリー取組状況】

【西日本旅客鉄道株式会社 中国統括本部】

○山陽本線厚狭駅では、新幹線改札の整備に加え、ホームのエレベーターの設置が全て完了したことで駅のバリアフリー化が完了した。9月30日から供用開始している。

【錦川鉄道株式会社】

○JRの今年の4月の改正に合わせ、精神障害者割引を本人だけではなく介護者もともに5割引、2種の方は本人のみ5割引の対応を取っている。

【公益社団法人 山口県バス協会】

○県内バス事業者に対し、車両の代替で可能な限りノンステップバスの導入を勧めている。貸切バスについても、バリアフリー車両導入の助成金を紹介している。

【山口宇部空港ビル株式会社】

○令和7年6月、中央大学ユニバーサルデザインプロジェクトチームによるユニバーサルデザイン診断を受診。空港側としてはユニバーサルデザインに対応していたつもりだったものの、誘導ブロックはエレベーターではなくそのボタンに向かって敷設されていなければならない、多機能トイレの機能を増やしすぎて逆に不便になってしまっているといった御指摘をいただいた。大変参考になったので、今後の改修に生かしたい。

【山口県】

○バリアフリー仕様の県営住宅の新築や、以前建設した県営住宅に対しバリアフリー化を実施している。

○ノンステップバス導入の補助制度を設けている。

【山口市】

○バリアフリー基本構想に基づき、道路のバリアフリー化事業を進めている。

○山口市ユニバーサルデザイン推進検討会を開催し、障害者団体等の御意見を施設の整備に反映した。

バリアフリー等地域連絡会議の開催について

山口県バリアフリー等地域連絡会議意見交換（概要）

- 視覚障害者が一人で出かけた場合、サポートしてくれる人がいないため大変な思いをしている。
- みどりの窓口廃止前はメモやスマホを窓口で見せることで解決することも多々あったが、それができなくなってしまった。
- みどりの券売機プラスではオペレーターと筆談できるそうだが、文字の理解が難しいろうあ者もいるため、可能な限り手話でのコミュニケーションを希望する。
- みどりの券売機での手話通訳が難しいようであれば、遠隔地手話通訳はいかがか。JR西日本での導入を検討していただきたい。
 - 労働人口は減少しているものの鉄道は維持しなければならないという状況から、窓口の廃止はやむを得ず行っているため、御理解いただきたい。
 - 遠隔地手話通訳については、後日お話を聞いた上で検討させていただく。
- 電車が緊急停止した際、車内アナウンスのみで情報が伝えられた場合、聴覚障害者にとっては何が起こっているのか分からない。車掌が来て対応いただいたときは降車できたが、そうでなかったときは電車内で長時間待つことになってしまったため、情報保障には配慮していただきたい。
- 構内アナウンスや車掌のアナウンスが聞き取りづらい。電車内での通話はルール違反と理解しているために支援者に連絡できなかったという事例も多い。
 - 障害者の方は情報が取りにくいという課題認識を持っている。障害者に限らず、誰にとっても分かりやすい情報提供の仕方を勉強し、順次整備を進めているところ。
 - ワンマン列車の場合、異常時は運転手一人で対応する必要がある。訓練も行っているが、運転手の行動や技術の向上で対応せざるを得ない部分もある。

バリアフリー等地域連絡会議の開催について

山口県バリアフリー等地域連絡会議意見交換（概要）

【意見交換（概要）続き】

- 交通機関別にICカードを変えることなく、全国的に1枚のカードで移動できると大きなメリットになると思う。
- 高齢者にとっては、地域における活動に参加したり継続しようとしたりしても、交通の便が悪いと参加できなくなってしまう。将来的には社会参加の機会や生きがいの喪失により、心身の健康面への影響も想定されるため、今後も公共交通機関に頼りたい。
 - 広島県でもPASPYの廃止に伴い事業者によってICカードや割引が変わるため統一してほしいという声が上がっている。山口県内ではICOCAとnimocaがあり、カードリーダーが変わればその都度障害者手帳を提示する必要があるという状況。難しい部分もあるが、当事者の声として本省に上げさせていただく。

山口県バリアフリー等地域連絡会議座長まとめ

- 当事者からの御意見として、今回もみどりの窓口廃止や緊急停車時の情報提供についての話が多かった。JRも大きな組織で、本社で方針を決めてから動く部分もあり難しいところがあることも承知しているが、これだけ意見が出ているという現状。
- 個別の窓口であるみどりの窓口から、オンライン対応であるみどりの券売機という形に変わり、ある意味細かいニーズに応えられる可能性は広がっているのではないかと。

バリアフリー等地域連絡会議の開催について

岡山県バリアフリー等地域連絡会議

【開催概要】

日時：令和8年2月4日(水) 14:00~16:00

場所：オンライン上で実施

議事：(1)開会挨拶（岡山運輸支局長）

(2)座長選出・挨拶

(3)運営要綱の一部改正について

(4)移動等円滑化評価会議中国分科会の報告について

(5)第4次バリアフリー整備目標最終とりまとめについて

(6)構成員のバリアフリーに関する取組状況について

(7)意見交換

(8)閉会挨拶（岡山県子ども・福祉部障害福祉課総括参事）

【構成員】

○学識経験者

川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部
医療福祉デザイン学科 講師 森 絵美

水島臨海鉄道株式会社
岡山電気軌道株式会社
公益社団法人 岡山県バス協会
一般社団法人 岡山県タクシー協会
一般社団法人 岡山県旅客船協会
岡山県旅館ホテル生活衛生同業組合
岡山空港ターミナル株式会社

○高齢者・障害者団体

公益財団法人 岡山県身体障害者福祉連合会
社会福祉法人 岡山県視覚障害者協会
公益社団法人 岡山県聴覚障害者福祉協会
特定非営利活動法人 岡山県精神障害者家族会連合会
一般社団法人 岡山県手をつなぐ育成会
特定非営利活動法人 岡山県自閉症協会

○行政機関

岡山県
岡山市
倉敷市
中国地方整備局
中国運輸局

○施設設置管理者

西日本旅客鉄道株式会社 中国統括本部
井原鉄道株式会社

【会議の様子】



座長 川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部
医療福祉デザイン学科 講師 森 絵美



意見交換

バリアフリー等地域連絡会議の開催について

岡山県バリアフリー等地域連絡会【構成員のバリアフリー取組状況】

【西日本旅客鉄道株式会社 中国統括本部】

○継続的なマインド面・介助スキルの教育実施とマニュアルの見直し、社員によるお声掛け・見守りと併せて、お客様同士で、助け合う共助の促進、分かりやすい情報提供の充実等、ソフト対策に取り組んでいる。

【水島臨海鉄道株式会社】

○列車の運行状況を表示するデジタルサイネージを設置。先発・次発・次々発の列車の出発時間と行先を表示し、列車接近時には音楽・音声により注意喚起と行先をお知らせ。日本語・英語の2か国語対応。

【岡山電気軌道株式会社】

○ろうさい病院にバスの運行サイネージを設置。従来の紙時刻表に比べて分かりやすく運行情報を提供できている。また、築港栄町のバス停にバリアレス縁石を設置。

【一般社団法人 岡山県タクシー協会】

○UDタクシーの導入と乗務員の人材育成としてユニバーサルドライバー研修を毎月2回実施している。

【公益社団法人 岡山県バス協会】

○次世代型電動車椅子「WHILL」利用者が安全にバスを利用できるよう、WHILL販売店協力の下、バス会社と勉強会を行った。また、WHILLを運転手が実地体験するための研修会も開催。各バス会社が研修会を随時実施できるよう、国の助成金を活用して2機種購入し、無償貸与している。

【岡山空港ターミナル株式会社】

○2023年に実施したユニバーサルデザイン診断を参考に、点字タイルをJIS規格品への変更5か所、バリアフリースイレ内へのカーテン設置6か所、自動ドア風除室ガラス面への衝突防止シート施工等の改修を行った。

【公益社団法人 岡山県身体障害者福祉連合会】

○身体障害者の社会参加と自立を促進するために、盲導犬と介助犬を1頭ずつ育成・貸与したほか、県下の身体障害者総相談員の活動を支援するため、合理的配慮や災害時の備えについて研修を実施した。

【公益社団法人 岡山県聴覚障害者福祉協会】

○川崎医療福祉大学が医療用コミュニケーションボードを作成するため、聴覚障害者のアンケートに協力した。

【岡山県】

○NPO法人まちづくり推進機構岡山の協力により、県及び市町村の施設整備の指導・建設に携わる若手技術職員を対象に、ユニバーサルデザイン体験会を開催した。

【岡山市】

○岡山駅東口駅前広場の一般車乗降箇所は段差がないフラットな設計とし、視覚障害者誘導用ブロックを設置した。高島駅南口駅前広場の出入りについて、駅前広場整備にあわせて新たにスロープを設置した。
○岡山市役所本庁舎1階にコード化点字ブロックを1か所設置している。専用のアプリで読み込むと音声案内を聞くことができ、視覚障害者への情報保障をすることができる。

【倉敷市】

○中庄駅前の歩道のデザインが誘導ブロックと酷似しており、視覚障害者にとって見分けが難しいという御意見を受け、誘導ブロックの色を分かりやすい色に塗り直す予定。

バリアフリー等地域連絡会議の開催について

岡山県バリアフリー等地域連絡会議意見交換（概要）

- 9年前、聞こえない夫婦2組でクルーズ船に乗船できるか訊ねたところ、聞こえる人と一緒であれば問題ないと回答された。聞こえない人だけでは乗船できなかったことで、社会から拒否されたように感じたという。現在はどうに対応されているのか。
 - 現行のガイドライン上では、当事者の求めに応じ、筆談等に対応することを求めている。ただし、安全上の理由等で 付き添いを求める場合もあるため、相互に立場状況を理解し、建設的対話をしていただきたい。
 - 当該事業者の現在の対応としては、聴覚障害の方のみでの乗船も問題ないとのこと。申し込みを検討する際、御質問等旅行代理店へお問い合わせ、もしくは当該クルーズ事業者のお問い合わせフォームより御確認いただきたい。
- タクシーアプリでは呼べる地域と会社が異なるため、サービス対象地域を制限なく利用できるようにしてほしい。
 - 令和6年10月に自治体に向けて配車アプリを事業者が導入するための支援に関する要望活動を行った結果、令和7年度から自治体の支援を受けることになった。現在、岡山市、倉敷市、津山市、総社市において、配車アプリの導入が増えている状況である。
- 非常時には場内放送だけでなく、デジタルサイネージ等を使ってメッセージを視覚的に表記してほしい。
- JRきっぷに関して、スマートフォンを活用して身体障害者割引で購入できるシステムの構築を求めたい。スマートフォンで 改札口を通れるようにできればなお良いと思う。
 - 非常時の緊急情報の視覚化について、一部の駅ではあるが、ディスプレイや発車表、エスコムという簡易運行情報表示端末を設置することで、視覚的に異常時の情報提供を行っている。
 - JR西日本のアプリ「WESTER」でも異常時の情報や券売機の混雑状況を発信しているため、御活用いただきたい。

バリアフリー等地域連絡会議の開催について

岡山県バリアフリー等地域連絡会議意見交換（概要）

【意見交換（概要） 続き】

- 「心のバリアフリー」について、課題が多いと感じているが具体的に何をどう改善すべきなのか、どのように心がける必要があるのか定義が分からないため、御意見をいただきたい。
- 「心のバリアフリー」は漠然としたことが多いが、活発に話題に上げていただき相互理解を深めることが解決につながるだろうと考えている。一朝一夕ではないが、ハード面の整備に関しても、「心のバリアフリー」を常に考えていただくようお願いしたい。
 - UDタクシーの研修では、自動車は汎用性が高い移動手段だが、御利用する方によって障害がある部位や体格に違いがあり、乗務員がお客様のニーズをお聞きしながらストレスなく御利用いただくための配慮を心がけるように講義している。ハード面で補うことができない点について、相手に寄り添うことでより利用しやすい環境を整えることが「心のバリアフリー」だと認識している。
 - 相互理解のためには信頼関係も重要であり、短期間で解決することは難しいかと思うが、話し合いを繰り返して歩み寄ることが大事であると考えている。

岡山県バリアフリー等地域連絡会議座長まとめ

「心のバリアフリー」の話もあったが、それぞれの団体において人材育成や研修など、解消に努めていることを感じた。それだけでなく、ハード面でもデジタルサイネージ等を上手く活用する工夫についても改善点として挙げていただいたところである。利用者からすると1つ課題が解決する一方で、その他にも解決する課題は存在すると思うが、今回のような情報交換の場を設けて、相互理解に向けた環境を継続する必要があると考える。